



町長施政方針演述

「逆境の時こそ大きなチャンス」と捉え、積極果敢に課題へ対応

鈴木重男町長

4期目を振り返ると新型コロナウイルス感染症に大きな影響を受けたところであり、また、ロシアのウクライナ侵攻など様々な社会情勢により物価価格等の高騰により、町の農林業に影響を及ぼすなど地域経済全体が厳しい状況にありました。

こうした中、「逆境の時こそ大きなチャンス」を掴める好機と捉え、「葛巻らしさ」「葛巻だからできる」「葛巻にしかできない」というチャレンジ精神に磨きをかけ、大きな変化・変革の流れの中であっても、時機を逸することなく積極果敢に町の抱える課題へ対応し、町民が安全・安心に暮らせ、幸せを実感できるよう町政運営に取り組んで参ります。

(要約)



教育行政方針

子育て環境の充実と支援の増進

鹿崎良宏教育長

子育て環境の充実を図るために、老朽化が著しい保育園舎の改築整備を順次進め、保育環境の充実や保育料の無償化など子育て世代の支援を図ります。

また、デジタル化の進展、ウィズコロナの対応、持続可能な社会への対応など教育を取り巻く環境は大きく変容する中において、課題を的確に捉え、適切な対応と改善で、葛巻の将来を担う人づくりのために全力を尽くして参ります。

(要約)



当初予算額

会計名	予算額
特別	
国民健康保険事業	8億4836万円
農業集落排水事業	2億4137万円
後期高齢者医療事業	8804万円
小計	11億7777万円
企業	
病院事業	13億3164万円
水道事業	3億5512万円
小計	16億8676万円

特別・企業会計

三つの特別会計の当初予算総額は、11億7777万円、前年度に比べて2105万円、1・8割増加しました。二つの企業会計の当初予算総額は、16億8676万円、前年度に比べて1081万円、0・6割増加しました。

病院建設費償還による収入の減

病院会計は、収益的収入と支出的収入の総額が、11億7470万円、病

北部地区水道施設整備事業費による増

水道会計は、馬淵川北部地区水道施設整備事業に係る建設改良工事費に伴い、収益的支出と資本的支出の総額が、3億5112万円、前年度に比べて1983万円、5・9割増加しました。

支援の対策強化

5年度 当初予算を決定

3月定例会議

3月定例会議は、3月3日から14日までの12日間の日程で行われました。冒頭、鈴木町長が施政方針を、鹿崎教育長が教育行政方針の演述を行いました。町長から提出された議案は5年度一般会計予算など21件で、原案どおり「決定」しました。一般質問では5人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

前年度より約4億円減

一般会計

5年度の一般会計当初予算は、71億4397万円、前年度に比べて4億1629万円、5・5割の減となっています。

基金から6億円繰入

収入は全体の47・4割を占める地方交付税が33億9000万円、前年度に比べて1億2000万円、3・7割増加しました。町税は5億664

6万円、前年度に比べて830万円、1・4割減少しました。基金からは6億3860万円繰入れ、主にくすまゝ周辺のⅡ期工事等の財源となります。

自主財源の割合は19・9割で、前年度に比べて1億3698万円、0・8割減少しました。

新規・

継続事業が充実

支出は、新庁舎建設費用を計上していた総務費が9億6195万円、

39・5割の減となっています。集会施設整備事業（冬部地区）、保育園新園舎建設事業（五日市保育園）、在宅子育て支援金、保育料の無償化、小中学生を対象とした給食費無償化などの新規事業のほ

か、定住対策住宅支援事業、快適な住まいづくり支援事業、草地更新支援事業など継続事業の拡充が盛り込まれました。

一般会計予算の詳しい内訳は4ページを、主な新規事業は6ページをご覧ください。

一般会計当初予算額の推移

(単位：億円)

